

2025
Jan.

1

vol. 138

JA ASAHIKAWA

あさひかわ

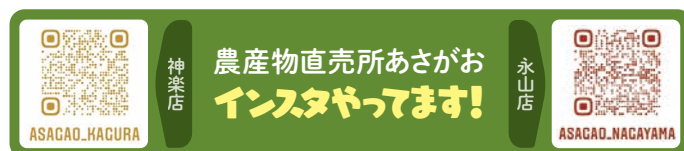


旭橋

特集

新春を迎えて

- ❖ 「TAC優秀賞」のW受賞
- ❖ 青年部 視察研修を開催
- ❖ JA北海道大会が開催
- ❖ 新商品紹介
- ❖ 理事会だより





新春を迎えて

代表理事組合長 古澤 祥弘

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆さまにおかれましては、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は農協運営並びに事業推進に対してご理解とご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、食料・農業・農村基本法の改正が成立し新たな農業政策がスタートしましたが、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の深刻な状況が続き、世界的な商品価格高騰と円安の影響を受け、肥料飼料などの生産資材や燃料等が高騰・高止まりし厳しい農業情勢が続いております。

さて、当農協の農産物の収量は、生育期間中夏場の高温が続いたため小麦・そば・青果物の一部は平年をやや下回りましたが、その他の農産物については平年並みの収量となりました。

昨年は第8次農業・農協中期3カ年計画の2年度でありJAあさひかわの営農ビジョン「クリーンあさひかわ」の活動として生産及び消費の両面から環境に配慮した農業の推進を図るため、有

機JAS米の全国初となる生産地と消費地の遠隔地連携による「オーガニックビレッジ宣言」を大阪府泉大津市・旭川市と行いました。また、TACパワースタッフ大会にてJA表彰を3回受賞したJAに送られる「TACトップランナー」「TAC賞」をダブル受賞しております。これはTACの育成強化に取り組み、担い手の幅広い課題解決に向けた取り組みが評価されたもので、今後も「出向く体制」を強化して取り組んでまいります。

農協を取り巻く環境は、急速な人口減少による組合員の減少と高齢化による担い手不足に直面していますが、組合員皆さまの所得向上に向けて役職員一丸となって取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。

最後になりますが、組合員皆さま方にとって実りある豊稔の一年となり素晴らしい年になりますことを心よりご祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



令和7年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会代表理事会長 樽井 功

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」、

「環境と調和のとれた産業への転換」等の実現が盛り込まれました。政府は、初動5年間で農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、今年3月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めております。

JAグループ北海道としては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しする力強い政策支援を求めていることが重要と考えております。

また、昨年は第31回JA北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・JAへの理解醸成」の3つの議案を決議いたしました。

今後、議案の達成に向けて、組合員・JA・連合会が一丸となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、JAの経営管理の高度化やデジタル化の推進による

業務効率化・生産性向上に取り組んでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、JAグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・JAに対する理解を深めていただき、JAグループが提唱する「国消国産」の認知を広めてまいります。

結びになりますが、本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があるとされ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われています。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



JAあさひかわの
気になるニュース

TACパワーアップ大会2024にて JA部門「TACトップラナーズJA」及び TAC個人部門「TAC優秀賞」のW受賞

11月21日～22日の2日間に渡って新横浜プリンスホテルにて「TACパワーアップ大会2024」が開催されました。

農業の現場では、農業従事者の高齢化や新規就農者不足により生産人口の減少が進んでおり、団塊の世代の大量離農や後継者不足も相まって年々加速しています。このような状況のなか、5年後、10年後の地域農業を支える担い手の重要性はさらに増し、JAにおけるTAC活動の維持・強化の必要性がさらに強まっています。

こうした時代の流れをふまえ、17回目を迎える今大会では5年後、10年後を見据え、地域の抱える課題の解決と、担い手の課題解決を通じた生産基盤強化、JAの総合事業としての強みを生かしたTAC活動の強化など、優良事例を共有するとともに、TAC間

の交流・意見交換の場とすることでTAC相互のネットワークを構築し、更なる活動のレベルアップをめざすことを目的にしています。

当組合では「地域労働力不足解消に向けたサポート体制の強化」に向けたヘルパー事業の取り組み事例が認められ、JA部門における「TACトップラナーズJA」を受賞しました。(過去JA賞3度受賞により審査権利を得るもの)

また、「農業の未来を守る北海道初の独自銘柄水稻肥料開発」による、省力化・低コストによる所得向上に向けた取り組み事例が認められ、TAC個人部門における「TAC優秀賞」を受賞しました。

受賞したJAは、表彰式並びに全国から集ったTACに向けて各取り組み事例を発表し優良事例を共有しました。

JA部門 TACトップラナーズJA受賞

事例発表者：営農企画部
米穀農産課 調査役 村上達也

【表彰基準】

過去のTACパワーアップ大会にて、3回以上JA部門を受賞しているJAとし、県域(全農)が推薦するJAとする。

TAC部門 TAC優秀賞受賞

事例発表者：購買部
購買課 調査役 佐藤航紀

【表彰基準】

TAC個人部門より3エリア毎に3名選出により合計9名を選出する。



1 受賞者記念撮影 2 大会風景、全国からTAC関係者約340名が集った
3 TACトップラナーズJA受賞 左から古澤組合長、村上調査役
4 TAC優秀賞受賞の佐藤調査役



新年挨拶
青年部部長 浅野健次郎

新年明けましておめでとうございます。日頃より組合員の皆様におかれましては、青年部活動に対しまして格別のご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年も変わらず、青年部員一丸となって地域農業の発展に向け、青年部活動を進めてまいりますので、より一層のお力添えをいただければと存じます。

昨年の農業界の話題として、大幅な米価の上昇が記憶に新しいところです。生産者にとっては嬉しい話題である反面、生産コストも上昇しているなかで、今回の米価が今後どのような影響を及ぼすのか注視しつつ、敏感に変化を感じとり、対応していく必要があると考えております。

さて、私たち青年部に目を向けますと、部員は減少の一途を辿り、現在の部員数は39名。10年前の約半分にまで減っている状況にあります。

この状況を打破するべく、今年度の青年部事業は「部員の事業参加率の向上」そして「青年部活動の外部への強力な発信」をテーマに掲げて新たな形で展開しております。特に農産物のPRを行う「A1フェスティバル」というイベントでは、より多くの報道機関に取り上げていただけるような内容に工夫し、作り込みました。報道機関以外に発信していただくことは、農業関係者以外の方々へ農産物の良さと農家の活動を知っ

ていただくことはもちろん、テレビや新聞などで部員の目に留まり青年部活動へのより一層の興味関心を持つに至れば幸いと考えております。その報道が当地区において就農を志す方や農協への就職を考えている方の、背中を押すことに繋がればと淡い期待をしているところでもあります。

また、今年度から自青年部のみならず周辺JA青年部との交流を積極的に図り、地域の枠を超えた連携と情報交換を行っております。

農業に励む同世代との新たな交流は、互いに刺激的なものとなり、少しずつその輪も広がっております。この交流により部員の農業や組織活動への意欲向上や事業参加に繋がることを期待しております。

部員減少による組織力の縮小は否めないものの、目的をしっかりと掲げ、今やるべきこと、そして、今やれることに全力を注ぎ、青年部事業を推し進めております。

私たち青年部世代だからこそ行える。この立場を最大限に活用し、これからの農業界を多様な方々から魅力的と感じていただけるものにする、そこに繋がる活動を今後も展開してまいります。

結びに、今後ご諸先輩方、各関係機関の皆様方のご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。今年一年皆様のご健康とご多幸を祈念し新年の挨拶といたします。



新年挨拶
女性部部長 谷口佳代子

新年明けましておめでとうございます。令和7年ご家族お揃いで新春を迎えられたことを、心よりお慶び申し上げます。

組合員の皆様、職員、女性部員の皆様には日頃よりJA女性部活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げますとともに感謝いたします。

春にはJAよりフラワーハーモニー用にポットエースをいただき、今年も各支所を花で飾ることができ、訪れる方の癒しになったかと思っております。また、さつまいも作付け推進の一環として、さつまいもの苗を提供していただき、栽培講習会を通して今年度の作付けに繋げられるのではないかと思います。

6月末の上川地区女性協議会の道外視察研修には3名が参加し、家の光協会との意見交換や、山梨の農産物直売所、桃のジャムづくりや、ミルクランド北海道を訪問しました。

7月末には33名参加による女性部合同一日バス研修会を開催し、旭川市農業センターのサツマイモの圃場や各種野菜のビニールハウスを実際に見ていただきました。サカタの種研修農場では、何品種も栽培しているトマトのハウス見学から始まり、玉ねぎの圃場では、参加者の皆さんは初めて聞く話に熱心に耳を傾けていました。昼食は白金温泉ホテルパークヒルズに移し、近くの白髭の滝を見学すると綺麗な青い川に感動し、四季彩の丘では見事なお花でリフレッシュできました。

各支部での活動も活発になり、食品加工や手芸などの物作、旅行、女性セミナーの活動も充

実に6回の開催となりました。

11月7日、8日の2日間、「令和6年度JA北海道女性大会・北海道家の光大会」が開催され全道の仲間との連携親睦、今後の組織活動の活性化を目的に開催され、北海道全域の女性部員、関係者約380名が久しぶりに顔を合わせました。

1日目、家の光記事活用体験発表、講演では、北海道三笠高校畜田教諭による「料理を通して人を育てる」を拝聴しました。2日目は「農業ガールズコレクション」と題して、全32組が自慢の特産品や加工品、手芸品などをファッションショー形式で披露。各組、牛の仮装や紹介動画など、工夫いっぱい楽しい発表となりました。紹介品の中には知らなかった特産品などもありました。

12月4日、上川地区女性部研修大会が旭川市で開催され、上川管内の部員や来賓らが約80名参加し、当JAからも5名の部員が出席しました。「素(チ)敵に健康く美しく楽しく農作業ライフ」と題して、ホクレン担当者からJA個別宅配事業ジョイライフの取り組みについて説明を受け、全国エコープの酢を一手に醸造する岡山県の大興産業からは、エコープで販売される酢の種類について紹介がありました。研修会では農作業着のファッションショーも行われ、農作業着をまとった16名のモデルがランウェイを歩きおおいに盛り上がりました。この様子は営農情報誌アグリポートに掲載されます。

最後になりましたがJAを抱りどころに仲間との繋がりを大切にし、皆様のご健康と豊穣を願い新年の挨拶とさせていただきます。

JAあさひかわ青年部 見識を深める視察研修を開催

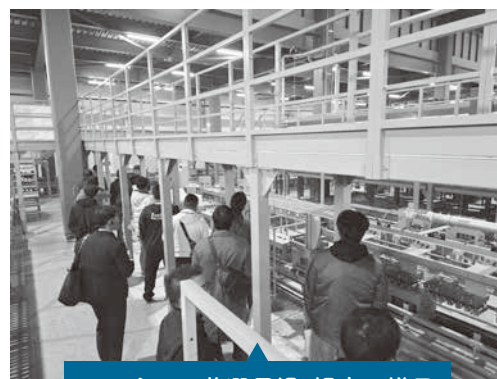
JAあさひかわ青年部道内視察研修会が11月5日（火）から6日（水）の二日にかけて行われ、今年は13名が参加しました。

見識を深めることを目的として、視察先を変えながら開催され、今年は他単組との交流を深めるべく、JA上川中央青年部と帯広方面で合同研修会を開催しました。

研修先として富良野市の「JAふらの玉葱選果場」、帯広市の「帯広畜産大学」、音更町の「杉山農場」の3か所を視察。

初日の「JAふらの選果場」では、施設の概要及び人員不足問題やスマート農業化への取組について、「帯広畜産大学」では、農畜産人材育成プログラムの説明を受けました。校内にある上川大雪酒造「碧雲蔵」では日本酒の製造の工程を見学、JAあさひかわの酒米も使用していることを知りました。

帯広で一泊し、二日目の「杉山農場」では、農業に関する動画をYouTubeに投稿する、農業チューバーとしても活動されている杉山智省氏からYouTubeへの動画投稿及びSNSの活用方法の説明を受けました。農場内も見学し、今後の営農の参考となる視察となりました。



JAふらの玉葱選果場 視察の様子



帯広畜産大学での説明。
熱心に耳を傾ける青年部の皆さん



杉山農場での集合写真

12月2日（月）令和7年度鷹栖町農業予算に関する要望手交

次年度に向けた農業予算確保のためJAたいせつと共に鷹栖町長のもとを訪れ要望書を提出しました。冒頭JAたいせつの相澤組合長から、鷹栖地区における本年の作柄と令和6年産の米価が前年産を大きく上回り、少しずつではありますが、将来の明るい兆しも見えてきてはいるものの、依然として生産資材とエネルギー価格高騰で打撃を受ける農業者の営農意欲維持向上のため、国などに対し町長の力添えと支援をいただきたいと挨拶があり、スマート農業導入支援や担い手対策のほか、新たな要望事項として環境保全型による生分解性マルチの支援など大きく9つの項目に関する要望書を手渡しました。

当JAからも古澤組合長が出席し、水田活用の直接支払交付金にかかるルール改定に対する現場での課題解決に町農業再生協が主体となって当たっていただきたいと要請し、谷鷹栖町長は農業関係団体が連携して地域の農業振興を図っていききたいと述べられました。



JAあさひかわ女性セミナー開催

令和6年12月3日（火）に、JAあさひかわ永山支所にて、今年度第5回目となる女性セミナーが開催され、20名の会員が参加しました。この日は、午前と午後のカリキュラムで、午前中は農業改良普及センターの金ヶ崎係長より『地球温暖化による上川農業の影響と対策』と題した講義をいただき、旭川についても例外なく温暖化が進んでいること、それによる作物への影響を学びました。そしてその対策や工夫に熱心に耳を傾け、受講者は来年の営農に活かしたいと話していました。

午後からはLienfarmの石田佳奈子様を講師にお招きして『ハーブの基礎知識と楽しみ方、美味しい入れ方と試飲会』と題した座学とワークショップを行いました。石田様はフランスで修行後に旭川で新規就農をしたという経歴の持ち主で、受講者は就農のお話に感心するとともに若い方が活躍している姿に感動をしていました。講話の後に行われたワークショップでは、4グループに分かれてテーマ（目的、効能）に合ったハーブを作り、オリジナルのハーブ作りを楽しみました。ハーブティーの試飲もさせていただき、香りや味わいを楽しみ、充実したセミナーとなりました。



子ども食堂へ新米600kgを提供！

12月5日（木）、あさがお神楽店において、旭川市で子ども食堂の運営を支えるNPO法人「ワーカーズコープ」と「陽だまりのころ」に併せて新米600キロを寄贈しました。

古澤組合長より「今年の米はとてもおいしくできた。環境と人に優しいクリーン旭川に取り組んでできた、お米を子どもたちに食べて欲しい」とお話があり、特別栽培米ゆめぴりかと「YES!cleanななつぼし」を寄贈しました。

ワーカーズコープ渡邊所長と陽だまりのころ柴田代表より、「毎年大変助かっている」と感謝の言葉をいただきました。

当組合も引き続き食料の提供を通して、子ども食堂による子どもの居場所作りを支援してまいります。



渡邊所長(右)と柴田代表(左)へ新米を手渡した古澤組合長

JAあさひかわ青年部 職員との交流会を開催

10月25日（金）、JAあさひかわ青年部と職員との交流会が開催されました。

この交流会は、日頃の農作業の疲れを癒やし、地区の枠を超えた部員間の親交を深めるとともに、職員との親睦を図ることを目的として、例年開催されています。

昨年、好評であった為、今年も同様に、ICTパーク（旧旭川国民劇場）を活用し、eスポーツ（タイトル：ボンバーマン）による交流会を行いました。

部員・職員合わせ49名の参加者が集い、浅野健次郎部長の開会挨拶の後、交流会が開催されました。8人1組のチームとなり、4人対4人の5チーム総当たり戦を行い、それぞれの勝ち数を競いました。限られた時間のなかではありましたが、200インチの大型スクリーンにより全員でプレイ画面を共有できたこともあり、会場一体で盛り上がりを見せ、今年も部員と職員の一体感が得られました。

eスポーツ終了後は、懇親会場へと場所を移動し、有意義な時間を過ごし、より親交を深め、盛会のうちに終了しました。



JAへの就職希望者100%就職

（令和5年度実績）

令和7年度第3回 学生募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年
- 寮完備（個室） ●通学制開始
- 受験資格：満27歳未満（令和6年4月1日現在）/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：令和7年2月2日（日）
- 願書受付：令和7年1月6日（月）～1月24日（金）消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

お問合せ・資料請求

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417 【JAカレッジ】で検索

令和7年度より
通学制開始

永山年金友の会 温泉湯治

永山年金友の会（会長・佐藤佳明 会員59名）は、11月12日（火）から15日（金）まで3泊4日の日程で18名の参加により、大雪山 白金観光ホテルにて秋の温泉湯治を行いました。

日頃の疲れを温泉で癒し、日中はカーリンコン大会を行い白熱した試合を繰り広げ汗を流しました。夜は宴会を行いビンゴ大会やじゃんけん大会で大いに盛り上がりました。

1年ぶりの3泊の開催となった温泉湯治は、一様に楽しい時間を過ごし有意義な温泉湯治となり無事帰路に着きました。



JAあさひかわ米トップセールス及び有機JAS米拡販推進を実施

12月9日から3日間、JAあさひかわ米トップセールスを実施しました。

生産者組織の代表者として、稲作協議会・滝川会長、特別栽培米部会・石坂会長、酒米部会・今野会長、有機栽培米生産者・岩井氏、村田氏、安友氏、当組合からは古澤組合長と米穀農産課上原課長が出席しました。

訪問先には、道外大手米卸業者や実需先である、(株)エフコープ・ライスセンター（福岡県）・富久千代酒造（佐賀県）幸南食糧(株)（大阪府）を訪問し、当組合の生産者組織代表者が一体となったトップセールスの実施により、今後の需要拡大に向けた意見交換や、産地評価の向上を図りました。また、有機JAS生産者4名を交えて有機JAS米の販売拡大や生産面積の拡大に向けた推進を併せて実施しました。

12月9日訪問 株式会社エフコープ・ライスセンター



12月10日訪問 富久千代酒造



12月11日訪問 幸南食糧株式会社



第31回JA北海道大会が開催される

11月20日（水）、JAグループ北海道は第31回北海道大会を開催しました。当組合からも役職員、青年部、女性部役員含め35名が参加しました。

「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「農業・食・JAへの理解醸成」とした、3つの議案が承認され、関係者の意思結集へ「協同の力」を確認する場となりました。

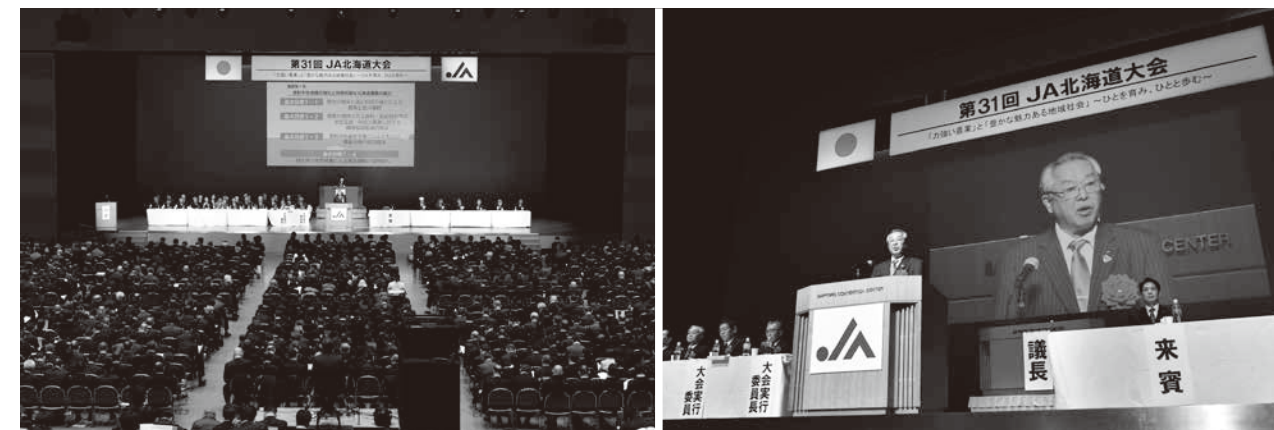
次の「大会決議」についても採択されました。

【大会決議】

第31回JA北海道大会の将来ビジョンの実現に向けた各議案について、組合員・JA・連合会がそれぞれの役割を再確認するとともに、地域や組織の実態に取り組むものとする。

さらにアグリアクションのもと、農業・食・JAへの理解醸成に一層取り組むことで、組合員・JA役職員・地域住民など地域社会で生きる全ての「ひと」とともに「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」を達成するものとする。

大会終了後、来年夏に参院選でJAグループ組織内候補となっている東野ひでき氏を励ます会が開催され頑張ろう三唱を行い閉幕しました。



JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第6回「東野ひでき北海道後援会の活動経過」について

過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

北海道後援会では、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、各連合会・関係機関など東野ひでき氏の応援の輪を広げていくために、農政学習会等を通じて「なかまづくり運動」を展開してきました。

「ひできのなかまづくり運動」

「ひ」…ひとりでも多く! 「で」…できることから! 「き」…きょうから始めよう!

各々が、応援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、その「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。

令和6年3月29日に東野ひでき北海道後援会を設立して以降、主に以下の取り組みを実施しております。

- JA総会・総代会にて東野の動画映写や組織結集に向けた決議等を実施。
- JA・連合会にて推薦手続きを完了。
- 道連常勤役員・地区会長他によるJA等巡回。
- 東野による全国連・全国機関、都府県連合会・JA等巡回を実施。
- 東野による道内各連合会、関係機関、取引先、JA等巡回(励ます会)を実施。
- 農政学習会の実施。
- 各種資材の活用。
(農政学習教材(資料・動画)、東野ひでき紹介動画、室内掲示用ポスター、リーフレット、運動推進ステッカー、名刺貼付用シールなど)
- JA広報誌での連載と北海道農政ジャーナルの発行。
- SNS(HP、LINE、Instagram、YouTube、Facebook)による活動報告。
- 青年部・女性部による東野ひでき親衛隊「動画大作戦」の実施。(毎月1回YouTube配信)

今後は、上記の取り組みに加え、屋外用政治活動用ポスターの掲示(野立て看板の設置)、東野出席のもと道内12地区の巡回等や、青年・女性組織の道・地区・単組段階での推薦手続き等を実施していきます。

農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

農政学習運動等を通じて組織選挙の意義を共有し、引き続き「なかまづくり運動」を広げていきましょう!

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(第7回)は、「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について報告します。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

組合員の皆様へ

令和6年9月発行のJAあさひかわ組合員広報誌より「JAグループ北海道の農政活動強化に向けて」と題して、農政活動等について今月号の第6回まで掲載させていただいている経過にございます。

今月号におきましては、上記の第6回に掲載しております「ひできのなかまづくり運動」にかかる資料として、「SNSパンフレット」、「リーフレット」、「ひできのなかまづくり報告書」を同封し、LINE公式アカウント等についてご案内させていただきます。

また、【ひできのなかまづくり報告書】につきましては、FAX(JAあさひかわ本所:31-1555)または最寄りの支所にて受付いたしますので、重ねてご案内申し上げます。

大場水産フェアについて

11月30日にあさがお神楽店前で大場水産フェアを開催致しました。タラバガニの足等の商品が売り切れるなど、大盛況となりました。ご来店ありがとうございました。

今冬に次回開催を予定しておりますので、よろしくお願い致します!

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第5回「参議院選挙の仕組み」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そして、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

参議院選挙では、各都道府県を区域とする「選挙区選挙」と、全国を一つの単位をする「比例代表選挙」の2つの選挙制度で成り立っています。「選挙区」は、北海道から立候補している候補者名を書いて投票します。「比例代表」は、全国から立候補している「候補者名」または「政党名」を書いて投票します。この「比例代表」は、非拘束名簿方式といって、政党の得票数に応じて議席が配分された後、その政党の中で個人名の得票数が多い順に当選が決まる仕組みとなっています。



つまり、「比例代表」の投票用紙に「候補者名」を記入しないと応援したい候補者に票は入らない仕組みになっています。

「比例代表」には、さまざまな業界や団体が代表候補を送り出しています。多くの得票数を獲得し、当選順位を上げるよう活動しております。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。言い換えると、得票数で、我々JAグループの力が測られていることになります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要

です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次ページは、後援会の活動経過について報告します。

東野ひでき北海道後援会

あさがおファミリーマルシェを開催!



10月26日(土) 27日(日)にあさがお永山店において、ファミリーマルシェが行われました。6台のキッチンカーが出店し、永山店を盛り上げてくれました。ご来店ありがとうございました!

理事会だより

第11回 理事会

令和6年10月25日(金)

決議事項

- 第2・四半期監査に係る要望事項の回答について
- 令和6年度9月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 理事に対する貸付について
- 令和6年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策及び令和7年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策(案)について
- 規程類の一部変更について
- 鷹栖町農業委員会委員候補者の募集について

報告事項

- 内部監査の実施報告について
- 農家経営対策組合員の令和6年度第3四半期実績について
- 営農企画部・購買部の営業時間変更について
- TAC活動状況報告、主要農産物の状況及び地区営農状況について
- コンプライアンス事故概要報告について
- 簿外債権のサービサーへの売却について
- 令和6年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- 規程類の一部変更について
- 組合員加入及び脱退の状況について
- その他

第12回 理事会

令和6年11月28日(木)

監査報告

第3・四半期定期監事監査の報告について

決議事項

- 令和6年度10月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 外部出資の増口について
- 組合員懇談会の開催について
- 災害対策計画(BCP等)の改正について
- 年末手当の支給について

報告事項

- 内部監査の実施報告について
- 理事に対する貸付報告について
- 信用事業及び共済事業における相談・苦情等(令和6年度上半期)の報告について
- 反社会的勢力排除対応管理先にかかる対応状況報告について
- マネロン等の防止に係る対応状況について
- 事務リスク管理規程に係る第3四半期のコンプライアンス事故報告概要について
- 令和6年度第4四半期余裕金運用計画額および運用方針について
- 子法人等9月末事業実績について
- 組合員加入及び脱退の状況について
- 年末年始の営業時間について
- 人事異動について
- その他

異動

【退職】

日付	資格名	氏名	所属
11月30日	審議役	山本 兼敬	管理部審議役(再発防止専任担当)

【採用】

日付	資格名	氏名	所属
12月1日	準職員	山本 兼敬	管理部付(再発防止専任担当) (定年再雇用)

お悔やみ 謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます

10/5	森田 アヤ	さん	北野地区2区農事組合
10/6	三田 フジ子	さん	旭正地区共栄2農事組合
10/7	湯野 茂子	さん	永山地区その他農事組合
10/12	河口 志津子	さん	永山地区その他農事組合
10/14	昆野 将人	さん	旭正地区旭正10農事組合
10/18	青木 敬芳	さん	旭川中央地区親睦農事組合
10/31	長谷川 満美	さん	神居地区豊里農事組合
11/3	工藤 勝彦	さん	旭川中央地区その他農事組合
11/18	東出 明男	さん	北野地区天満農事組合
11/20	大原 萬	さん	旭正地区旭正3農事組合
11/24	山越 晃子	さん	旭正地区共栄3米農事組合
11/25	小林 芳夫	さん	旭正地区共栄7農事組合
11/26	岩村 清光	さん	永山地区12区農事組合

監事監査の報告

監事監査

第11回監事監査 令和6年10月25日開催
第12回監事監査 令和6年11月26日開催

監事監査

1. 随時監査
令和6年10月に管理部、金融共済部、農産物直売課、購買課、燃料課、江丹別支所、7金融支所、西神居事業支所、4資材センター、4給油所を実施
2. 定期監査(第3・四半期)
令和6年11月21日から26日までの4日間実施
※随時監査は、内部監査室と合同で実施しました。



(令和6年11月末実績)

概要

組合員数	正組合員	1,494 名
	准組合員	17,130 名
	合 計	18,624 名
出 資 金 残 高	2,153 百万円	
販 売 取 扱 高	5,325 百万円	
生 産 資 材 供 給 高	1,420 百万円	
給 油 所 供 給 高	1,473 百万円	
生 活 供 給 高	69 百万円	
貯 金 残 高	98,858 百万円	
融 資 残 高	26,502 百万円	
長 期 共 済 保 有 高	1,337 億円	

編集後記

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。今年は巳年です。組合員の皆様にとって巳(実)を結ぶ充実の年となるよう、私たちも頑張ってまいります。

いつもご愛読いただいている組合員の皆さまにはくれぐれも健康に留意され、豊穡の秋を迎えられますことを心よりお祈り申し上げます。農作業事故にもお気をつけください！

JAあさひかわ広報誌編集委員会



JAあさひかわの
気になるニュース

新商品紹介！



黒い恋人キーマカレー

ABC Lab. (エービーシーラボ) 監修による第1弾企画の新商品「黒い恋人キーマカレー」が発売しました。

黒大豆をふんだんに使用し、10種のスパイスをブレンドして作られた本格的な味わいのレトルトカレーです。

黒大豆の濃厚なコクとしっかりとした食感が特徴で、カレーに深みと旨味を与えています。

手軽に本格的なカレーを楽しめますので、是非ご賞味ください！

※ABC Lab. 当組合生産者と職員で構成された商品開発チーム。
2023年結成

あさがお両店とオンラインショップで好評発売中です！

702円(税込)

さつまいもラテ

当組合のさつまいもを使用した新飲料「さつまいもラテ」が(株)谷口農場さんから販売されています。

さつまいもの自然な甘さとクリーミーな牛乳がマッチした優しい味がします！



(株)谷口農場さんの直売店「まっかなトマト」やあさがお両店で好評発売中です！

303円(税込)

JAあさひかわ

1/31 2025
[金]まで

見
積
り
し
て
み
ま
せ
ん
か
?

見 積



上記のQRコード
【Googleフォーム】
からの申込みもいた
だけます。
※申込みの際は
Googleアカウントが
必要となります。

キャンペーン実施中!

現在のご加入の他社証券（他共済証券）をご持参のうえ新た
にお見積りされた方へ先着250名様に下記セットのどちらか
をプレゼントさせていただきます。



黒い恋人キーマカレー＆
さつまいもラテセット
(190G×1缶)

贅沢保湿ティッシュ＆
さつまいもラテセット
(190G×1缶)

※さつまいもラテについては缶飲料(190G缶)となります。



お問い合わせ先

旭正支所 0166-62-2231

北部支所 0166-51-4336

神楽支所 0166-61-4111

江丹別支所 0166-73-2111

豊岡支所 0166-31-3188

永山支所 0166-48-2174

神居支所 0166-61-4126

北野支所 0166-87-2131

キャンペーン実施期間

令和6年11月1日～令和7年1月31日

ご提供いただいた個人情報は、JAおよびJA共済連の事業および各種サービスの提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、JA共済は「個人情報利用方針」を定め、個人情報の保護に努めています。